

日本聖公会 管区事務所だより

日本聖公会管区事務所
162-0805 東京都新宿区矢来町 85
電話 03 (5228) 3171 FAX 03 (5228) 3175
発行者 総主事 司祭 矢萩新一

「主よあなたはどこに」

ー沖縄県を思い、平和への祈りをー

管区事務所総主事 司祭 エッセイ 矢萩新一

6月から公禱を再開した教会、7月から再開する教会、休止せずに気を付けながら集い続けた教会、それぞれの教会で話し合い、あるいは教区が指針を示して、様々な対応がなされてきたと思います。まだ今までのように気兼ねなくというわけにはいきませんが、聖餐に与りたくても与れない方々の思いを少しでも分かち合う経験となったのではないのでしょうか。いまだに感染拡大が深刻な国々の人々を覚えて祈りたいと思います。

敗戦後75年を迎える今年6月23日に沖縄教区では、沖縄戦やすべての戦争犠牲者の魂の平安を祈る、「慰霊の日」記念聖餐式が沖縄教区の教役者のみで行なわれました。沖縄県では、沖縄戦の組織的戦闘が終結した日を覚え、戦争による惨禍が再び起こらないように恒久平和を求め、戦没者の魂の平安を祈るために、毎年6月23日を「慰霊の日(公休)」と記念し定めています。前日の22日の夜には、正義と平和・沖縄プロジェクトが主催し、今年中止となった沖縄の旅で訪ねる予定であった場所を映像で紹介し、祈りをともにするZOOMプログラムが行なわれ、全国から70名がWeb集會に集いました。「慰霊の日」記念聖餐式では、平和の礎に今年追加刻銘された県内外・海外30名の方々の名前を覚えて祈り、3か月前からは戦後75年を記念して沖縄戦のすべての犠牲者約24万名の名前を毎日読み上げて祈ってこられました。「犠牲者約何万名」と記しましたが、一人ひとりに家族があり、人生があった命です。4人に一人の住民が犠牲となり、今も米軍基地の撤去を望む声が押しつづされ続けています。語り部として戦争の記憶を語り続けてこられた方々も当時10歳であれば85歳のご高齢です。ある新聞記事によると、今になって、軍隊が住民を守らなかった事実を語り残さなければならないと重い口を開かれる方もおられます。沖縄教区時報の2020年6月号に関連する記事が掲載されていますのでぜひお読みください。

私たちは、悲惨な現実を前に「主よ、あなたはどこにおられた? (日本聖公会聖歌集423番「沖縄の礎」により)」、先の見えない不安を覚えるとき「どこにおられますか?」と嘆きます。しかし、「命どう宝・命こそ宝」、「あなたは私の愛する子」と宣言してくださる神さ

□会議・プログラム等予定

(2020年6月25日以降)

※現時点での予定です。

延期や中止の可能性もあります。

6月

24日(水) 日韓協働委員会〔管区事務所・Web会議〕

7月

3日(金) 聖公会/ルーテル エキュメニズム委員会小会議〔管区事務所〕

7日(火) ~9日(木) 定期主教会〔ナザレ〕

10日(金) 正義と平和委員会〔管区事務所・Web会議〕

13日(月) 主事会議〔管区事務所・Web会議〕

28日(火) 常議員会〔管区事務所・Web会議〕

8月

21日(金) 聖公会関係学校協議会〔Web会議〕

＜関係諸団体会議・他＞

7月1日(水) ACT ジャパンフォーラム運営委員会〔Web会議〕

8日(水) NCC 役員会〔早稲田〕

15日(水) NCC 役員会・常議員会〔早稲田〕

※新型コロナウイルス感染拡大に伴い、管区の行事・会合などが中止・延期、またWeb会議に変更されています。ご注意ください。



まは、いつも私たちと共おられると約束してくださっています。キリストに結ばれている私たちは、信頼によって和解と平和に生きる者として、「歴史と生命の主である神よ、わたしたちを平和の器に

してください。…沖縄週間を通してわたしたちを新たにし、あなたの示される開放と平和への道を歩む者としてください。」(沖縄週間の祈りより)と祈り続けたいと思います。

□常議員会

第64(定期)総会期第11回 2020年6月2日(火)

<主な決議事項>

1. 公開の礼拝休止に伴う各教区・教会の財務状況に関する緊急調査中間報告に関して、主に管区分担金と総会が定める主日信施について協議し、現状把握が難しい時期であるため管区分担金に関する事項は継続協議とした。主日信施に関しては例年と同等額まで補填して送金することを承認した。財政主事に管区諸委員会活動における支出予想の調査と補正予算の準備を依頼した。
2. 教役者給与支援システムの将来に向けた調査に関して、タスクフォースの設置とそのメンバーを承認した。

次の会議：2020年7月28日(火)

□各教区

京都

- ・第115(臨時)教区会 2020年7月23日(木・祝)14時～16時 日本聖公会京都教区主教座聖堂(聖アグネス教会) 議題：ザ・パレスサイドホテル退去に伴う立退料支払いの件、基本財産の変更の件(教区ビルの解体)、感謝決議の件

大阪

- ・第124(臨時)教区会 2020年7月19日(日)14時～15時半 日本聖公会大阪教区主教座聖堂(川口基督教会) 議案：石橋聖トマス教会が現在独自に持つ宗教法人格を、大阪教区に一元化する件

神戸

- ・聖職接手式 2020年6月20日(土)10時半 日本聖公会神戸教区 徳島インマヌエル教会 司式：神戸教区主教 主教オーガスチン小林尚明 説教：司祭 ヨハネ芳我秀一 執事

按手志願者：聖職候補生 ルカ宮田裕三

沖縄

- ・第69(臨時)教区会 2020年7月24日(祝・金)13時半～16時 日本聖公会沖縄教区センター 議題：教区規則変更の件 北谷諸魂教会プレスクール跡を収益事業にすることの承認を求める件。(駐車場を含む)

†逝去者 霊魂のパラダイスにおける光明と平安を祈ります。

司祭 パウロ大江真道(京都・退) 2020年5月31日(日)(89歳)

管区事務所 HP へのお誘い

<http://www.nskk.org/province/>では、日本聖公会のあらゆる情報を閲覧することができます。ぜひご活用ください。

日本聖公会とは

教会としてのあゆみと現状。

『管区事務所だより』

管区から各教会へ (2001年1月号～最新号)

NSKK NEWSLETTER

海外への「日本聖公会だより」

声明・要請・決議文

信仰にもとづき日本聖公会が発信する諸声明など。

代祷表

海外・国内の諸教会等を覚えて。

教会への諸連絡

日本聖公会諸教会への連絡・委員会からのお知らせ、会議日程など。

総会の決議による主日

総会で定められた主日(日曜日)に各教会がささげる特別献金など。

管区諸委員会

・礼拝委員会

- ・エキュメニズム委員会
- ・青年委員会、ほか

資料

統計表・年次移動祝斎日表、報告書など
日本聖公会管区 WEB サイトライブラリー

リンク

11 教区・管区諸委員会・社会福祉事業・関係
諸団体・関係諸施設・神学校・修女会・関係
学校・その他

English

Short information from NSKK

- * About Nippon Sei Ko Kai
- * Document
- * Worship Services in Languages Other than Japanese
- * How to get to the Provincial Office
- * "NSKK NEWSLETTER"

《人事》**東北**

主教 ヨハネ吉田雅人	2020年5月23日付	仙台基督教会、磯山聖ヨハネ教会管理牧師に任命する。
司祭 ステパノ涌井康福	2020年5月23日付	新庄聖マルコ教会管理牧師に任命する。
司祭 ドミニコ李 贊熙	2020年5月23日付	仙台基督教会及び二伝道所において礼拝協力を委嘱する。
主教 ヨハネ加藤博道(退)	2020年5月23日付	主教ヨハネ吉田雅人のもとで仙台基督教会及び二伝道所において礼拝協力を委嘱する。 (任期1年 2021年3月31日まで)
司祭 ピリポ越山健蔵(退)	2020年5月23日付	主教ヨハネ吉田雅人のもとで仙台基督教会において、囑託司祭として勤務することを委嘱する。聖ペテロ伝道所居住とする。また主教ヨハネ吉田雅人のもとで、磯山聖ヨハネ教会において礼拝協力を、並びに司祭ドミニコ李 贊熙のもとで、仙台フランシス教会において礼拝協力を委嘱する。(任期1年 2021年3月31日まで)

北関東

司祭 マタイ金山昭夫	2020年5月31日付	栃木聖アルバン教会の管理牧師の任を解く。
主教 ゼルパベル広田勝一	2020年6月1日付	栃木聖アルバン教会の管理牧師に任命する。
司祭 ルカ平岡康弘	2020年5月31日付	新町聖マルコ教会の勤務を解く。
	2020年6月1日付	栃木聖アルバン教会の協働司祭に任命する。
司祭 マルコ福田弘二	2020年6月1日付	新町聖マルコ教会の協働司祭に任命する。

横浜

<信徒奉事者認可> 2020年5月12日付(任期1年)
(千葉復活教会) ペテロ永井直行
(伊豆聖マリヤ教会) グレゴリー市川 登

神戸

<信徒奉事者認可> 2020年6月1日付(任期1年)
(下関聖フランシス・ザビエル教会)
マグダラのマリア南野あや子、セオドア水藤 創

今こそ、私たちの生き方を問い直すとき

司祭 セオドラ 池本則子

この2・3ヶ月、私たちの生活は一変しました。私たちの信仰生活にとって大きな意味を持つ復活日。しかし、復活日はいつもと違う形で迎えることになってしまいました。そして、5月31日に迎える聖霊降臨日。多くの人たちと共に聖霊降臨の出来事を覚えて一堂に集まって共に祈りたい教会の誕生日であるこの日も、きっと集うことさえできない状況が続いていると予想されます。新型コロナウイルスは今まで当たり前だと思っていたことが当たり前ではなかったことに全世界が気づかされたのではないのでしょうか。

今までも地震や豪雨などの自然災害を被った地域ではそれまでの日常生活が失われ、先が見えない生活を余儀なくされました。いまだに避難生活を送らざるを得ない方々もおられます。

また、政情不安定な国、争いの渦中にある国などは、その日生きるのに精いっぱいだったり、日々命の危険に脅かされながら恐怖の中で過ごしたりと、安心できる生活を送れない人たちが大勢います。私たちはこのように自然災害や人的災害を避けては通れない世界に生きています。

しかし、自然災害も人的災害も一部地域で起こっていることであり、当事者でない地域の人たちは思いを尽くして支援の方法を考えながら手を差し伸べ、その地域の方々のために祈りをささげてきました。ところが、新型コロナウイルスは世界中すべての地域に広がり、すべての人が感染と隣り合わせであり、命の危険にさらされています。私たちは今のこの現実をどのように考え、この現実の中でどのように生きていったらいいのでしょうか。これは神様から問われていることだと思います。

東日本大震災の時、悲しみの中にも「絆」という希望が生まれました。しかし、一方では残念な

がら福島の人たちに対する差別が起きました。そして今また、感染者の職場や家族に対する差別も起きています。もちろん、それは決して悪意によるものではなく、恐怖心から起きていることだとは思いますが。ただ、その時、もう少し相手に対する想像力をもつことができれば違った対応になるのではないかと思います。

外出自粛が求められ、家庭で過ごす時間が増えたことによるストレスでの夫婦や親子の関係、新年度が始まると同時の休校、収入が途絶えた人たち、感染者の数を気にしながら過ごす日々、と心配はつきません。いつまで続くか分からないこの生活に心が萎えそうです。しかし、このような時だからこそ、神様は私たちに何を問われているのか考えていかなければならないと思います。神様のみ言葉に触れてその声を聞き取り、神様の知恵を求め、神様に信頼して、神様のみ心に応えられるような生き方を模索していくことが必要なのではないかと思います。そして、私たちの生き方を見直さなければならぬのではないのでしょうか。そういえば私の幼少期の時代と今の時代では明らかに違っていることを思います。当たり前だと思っていたことも当たり前ではないのです。

私たちはイエス様の『恐れることはない』という言葉は何度も耳にしています。今、この不安な時もイエス様は『恐れるな』と呼びかけてくださっています。

私たちは恐れることなく、私たちのこれからの生き方を前向きに問い直していきたいものです。

(橋本基督教会・笠田基督教会牧師・五條聖三一教会管理牧師)

新型コロナウイルス（COVID-19）に関連する 各教区の対応

北海道教区 礼拝（公禱）の休止なし

- ・無理に主日礼拝への参加をお勧めしない（6月末まで延長）。
- ・教役者はそれぞれの教会で時間通り礼拝を守る（時短可）。

東北教区 礼拝（公禱）の再開

- ・主日礼拝等については、6/7より再開。
- ・葬儀は十分な感染予防対策の上で実施。

北関東教区 礼拝（公禱）の再開

- ・教区内各教会は、6/7より礼拝を再開。ただし地域社会や教会共同体の状況を考慮・協議し必要な策を講じる。

東京教区 礼拝（公禱）の休止

- ・公禱の休止を継続中。
- ・葬儀は十分な感染予防対策の上で実施。
- ・教役者逝去者記念聖餐式は当面、教区主教と主教座聖堂主任司祭等での非公開の礼拝とする。遺族・関係者へ教区事務所より案内するが、それぞれの場で祈りをともにする。

横浜教区 礼拝（公禱）の公開を再開

- ・6月7日を目途に、人数制限をした上で主日礼拝を再開する。
- ・5月23日より平日の礼拝と教会委員会の教会での開催を再開する。
- ・止むを得ない事情がない限り、しばらくの間、在籍外の教会への礼拝出席は控える。教区を越えての礼拝出席も同様とする。

中部教区 礼拝（公禱）の休止

- ・5/31までの主日及び週日の礼拝は、教役者・信徒が一堂に会して行うことを休止。
- ・東京教区のオンラインによる礼拝も推奨。
- ・5/10～主教座聖堂の主日礼拝（10:30～）をライブ配信。

京都教区 礼拝（公禱）の休止なし

- ・各教会で判断。主日礼拝はほぼすべての教会で再開。

大阪教区 礼拝（公禱）の再開

- ・6/7より段階的に礼拝を再開する方向。当面主日礼拝のみ。

神戸教区 礼拝（公禱）の再開

- ・教区内全教会・伝道所は地域ごとに教会委員会で協議し、6月よりほぼ全教会が礼拝を再開する。

九州教区 礼拝（公禱）の再開

- ・各教会で判断。
- ・無理に主日礼拝に来ることをお勧めしない（体調の悪い方・公共の交通機関で教会に来られる方など）。

沖縄教区 礼拝（公禱）の再開

- ・5月21日（昇天日）から礼拝を再開。
- ・三原聖ペテロ聖パウロ教会は6月7日より礼拝を再開。
- ・愛楽園祈りの家教会、南静園聖ミカエル教会は国の対策が緩和されるまで礼拝を休止。

管区事務所

- ・6/1（月）より通常勤務（平日の月～金曜日9:30-17:30）。今後の状況によっては時間短縮などの可能性も有。

(6月12日現在)

管区事務所編集

今年は10月に発行いたします！

聖公会手帳 2021

- ・諸祈禱を大幅に増補
- ・日記と年鑑を兼ねた便利性を徹底！
- ・教会暦・日課表の最新資料を収録！
- ・紙質を軽量化して使いやすさを追求！

○大型判 2,200円 / 通常判 1,200円(税込)

申し込みは聖公書店 (TEL 04-2900-2771)、
またはお近くの書店まで。

2021年版『聖公会手帳』・事業紹介への出稿についてのお願い

『聖公会手帳』では巻末の特集欄で、日本聖公会が幅広く関わる学術・教育・文化・医療・福祉などの諸分野にわたる社会的活動を〈事業紹介〉として掲載してまいりました(2020『聖公会手帳』380～407頁を参照)。現在編集中の2021年度版『聖公会手帳』では、この〈事業紹介〉

の趣旨に賛同し出稿していただける事業所を新たに募集しております。記事掲載の申し込み・詳細等について管区事務所にお問い合わせください。2020年7月15日までにお願いいたします。

☎03-5228-3171 (総務主事または広報主事宛て)

■在日フィリピン人の子どもたちのための学校 「国際子ども学校」存続のために募金を!!

日本聖公会中部教区・名古屋学生青年センターの活動の一環として運営されてきた「国際子ども学校(ELCC)」が、このたびの新型コロナウイルス感染拡大の影響により、その運営が困難な状況に直面しており、募金を呼び掛けているとのお知らせをいただきました。

国際子ども学校(ELCC)は22年間、日本で働く外国人労働者の子どもたちを支える活動を続けてきました。しかし今回の新型コロナウイルス禍によって外国人労働者の解雇・減給が相次ぎ、子どもたちの保護者・家庭が経済的に困窮して月謝を支払うことができない状況にあります。またELCCの運営を担ってきた名古屋学生青年センターの諸事業も新型コロナウイルス禍により大きな打撃を受け、ELCCを支え続けることが困難になっています。「感染拡大防止のためELCCは3月より休校しておりましたが、自粛要請が解除された今6月からの学校再開を決定しました。ELCCの現状を御理解の上、存続のための募金に御協力ください。」とのこと。広くみなさまのお力添えをいただきたく、よろしく願いいたします。

(記・管区事務所)

《募金方法》

- 郵便振替：00850-1-114684 加入者名：学生青年センター国際子ども学校
 - 現金書留：〒466-0804 名古屋市昭和区宮東町260 日本聖公会中部教区 名古屋学生青年センター TEL(052)781-0165
- <http://nsskk.org/chubu/nyc/activities/elcc>

教会奉仕者に図書を贈呈します

ヒルダ・ミッシェル文庫から

東京教区渋谷聖公会聖ミカエル教会は当教会信徒のヒルダ後藤八重子姉、ミッシェル菊池みつゑ姉の両姉妹から遺贈された基金を用いてヒルダ・ミッシェル文庫の働きをしています。その内容は、日本聖公会の聖職・信徒(特に聖職志願者)を対象として、欲しくても手にすることができない必要な図書を現物で贈るものがあります。毎年希望者を募り、適正な申請と認められたものは当方で希望書籍を購入し、書籍現物を申請者に寄贈します。両神学校にはすでに案内をしましたが、広く教会でご奉仕をされている方々にご案内します。ご奉仕に必要な専門書など、信徒の方々を含め申し込みが可能です。

遠慮なく、渋谷聖公会聖ミカエル教会までお問い合わせください。詳しい案内と、申請書をお届けします。

問い合わせ先：渋谷聖公会聖ミカエル教会

TEL 03-3409-2079 / FAX 03-3409-2938

メールアドレス：shibuya.st.michael@gmail.com

なお、2020年度申請締め切りは6月30日となります。

渋谷聖公会聖ミカエル教会内

ヒルダ・ミッシェル文庫

教会の声 / 読者の声

「教会の声 / 読者の声」欄への寄稿をお待ちします。内容・字数は自由。執筆者名・教会名を明記して郵便またはメールでお送りください。宛先は管区事務所・広報主事。(com-sec.po. @ nskk.org)

あぶらむの活動に関心を持ちましょう

『あぶらむ物語Ⅱ カミノ・デ・アブラム』の発刊に際して

東京教区の退職司祭である大郷博師が主宰する「あぶらむの会」の働きは、今の日本社会にあって、私たちの既成の教会に対して宣教の有様について改めて見直し、よい刺激とヒントを与えてくれるものと感じている。

大郷師は立教大学のチャプレンを務め終え、パリッシュチャーチの務めに戻る際に、些細なことに躓き自殺を図るひ弱な学生たちを少なからず見てきた経験から、比較的安定した生活を送っている信徒の世話をすることよりも、教会を出て人生に躓く人たちに寄り添うことが優先される働きと強く感じて、教区主教に休職願を提出し、飛驒の山中に入って「人生の良き旅人づくり」を目的とした、実践教育活動「あぶらむの会」の活動を始められたのである。その主たる働きは、旅人が疲れたり、迷っているときに休んで頂くと共に寄り添う「あぶらむの宿」の運営であった。活動の開始から30年を過ぎた今、あぶらむの会主宰者である大郷代表が人生において人と出会い、経験し、主の導きと恵のうちに学び歩んだ出来事を書き記すことにより、あちこちにひずみが生じている今の時代の中であぶらむの会が大事にしてきた心を、多くの人に伝えることを願い、あぶらむの会は30周年記念として『あぶらむ物語Ⅱ』を出版することとなった。

この出版物は、大郷師が人生の節目節目で出会った人との関わりが記されたもので、そこには紛れもなく主が共におられたと実感させられる内容が多い。信仰の先輩方だけでなく、そうではない方との関わりも多く書かれている。そこからは信仰者ではなくても、教養の高い知識人ではなくても、自らが置かれた場から逃げることなく、真剣に生きようとする人の中には聖霊の働きが及ぶことをひしひしと感じさせられる。行く先

を示されることなく、主の導きにしがたって荒野に出て行ったアブラムに倣いつつ「あぶらむの会」の30年は、大郷師や協賛者が立てた計画ではなく、設定された場で出会う人達に向き合い、生活を共にしながら導かれた歩みである。

「あぶらむの会」は十字架を表看板に出してこそいないが、主イエスが示された「道・真理・命」をできるだけ教会用語を用いずに、伝えることをしてきた教会である。「あぶらむの会」の働きは、今日の日本社会にあって、世の中で生き難くされている人々と教会との接点を見出すよいモデルになると考えている。それ故に、今般出版された『あぶらむ物語Ⅱ』を広く教会の方々にも読んでいただきたいと願うものである。

(渋谷聖公会聖ミカエル教会信徒 山田 益男)

30周年記念出版『あぶらむ物語Ⅱ カミノ・デ・アブラム』は、あぶらむの会の自費出版であるため、書店には出ません。申し込みは郵便振替(代金先払い)でお申し込みください。定価は1760円ですが、郵送の場合、送料込みで2,000円×部数でお願いします。



申込先：郵便振替口座：00800-4-88065

一般社団法人 あぶらむの会

連絡・問い合わせ：TEL/FAX:0577-72-4219

メール：abram@hidatakayama.ne.jp

沖 縄 週 間

2020年6月21日(日)～27日(土)

沖縄週間は日本聖公会の全教区・教会が沖縄の現実に思いを寄せ、主の平和を求めて祈ることを目的とするものです。



愛の反対は憎しみではなく無関心です。
(マザー・テレサ)

ぬち たから
命どう宝

今年の沖縄の旅は、新型コロナウイルス感染予防のために開催を断念しました。しかし、皆さまと、より一層心をあわせて主の平和実現のために祈りたいと願います。

日本聖公会沖縄教区・日本聖公会正義と平和委員会

※ 6月22日(月)19時30分より「沖縄の旅Zoomプログラム」を行います。
詳しいことはポスターの送付状をご参考ください。

海の主日

2020年7月12日





私たちが毎日頼りにしている物資を届けるため、たゆまぬ努力をしてくれている世界中の船員のために祈りましょう

海の主日は困難かつ危険な環境で働く全ての船員を癒え、感謝する特別な日です。ザ・ミッション・トゥ・シーファーズは160年にわたり船員のサポートを實踐してきたことを誇りとし、世界150万人の船員に重荷かつ緊急の支援を提供しています。

日本聖公会

Please support us
on **Sea Sunday**
12 July 2020





Celebrate Sea Sunday 2020 with the global MtS family by joining our online service. Go online and get onboard.

For more information or to order a pack visit <https://www.missiontoseafarers.org/>

日本聖公会管区事務所ホームページ <http://www.nskk.org/province/>

☆「管区事務所だより」についての要望・寄稿などをメール、また郵便でお寄せください。